

# 今、注目される4つの資格—活躍する取得者達

## 調停人候補者

【業務内容】ADRとは、裁判外紛争解決手続のこと。裁判によらずに話し合いでトラブルを解決させる手法を指し、裁判に比べて簡易・低廉・柔軟でもあるというメリットがある。日本不動産仲裁機構は、法務大臣認証のADR実施機関であり、同様機関から調停人として選任されると、①不動産の取引に関する紛争、②不動産の管理に関する紛争、③不動産の施工に関する紛争、④不動産の相続その他の承継に関する紛争を解決させるために活動するといわれている。

【活躍の場】「調停人候補者」資格は、不動産・建築業に携わる方々に広く取得が推奨されているが、この資格は、ADR実施の場面はもちろん、通常業務の場面においても活用することができる。不動産・建築業のお客さまは、極めて高額な商品の取引をするために、トラブルに絶対に対処したいと考えている。したがって、お客様から選ばれるためには、「トラブルを起さない信頼できる事業者」として認知してもらうことが大切だ。そして、「トラブルを起さない存在」として認知してもらうことは、「トラブル解決の専門家」となることが効果的。トラブル解決の専門家は、高いコンプライアンスを持つていると理解されるからだ。更にお客様の中には様々なトラブルを抱えている方もおり、彼らのトラブル相談に対応することは、信頼獲得の近道になる。つまり「調停人候補者」資格を有することは、業務案件獲得の大きな力となる。当然、例外的と認められては、更に調停人に対しては、決まり、信頼獲得につながる。決まり、信頼獲得につながる。決まり、信頼獲得につながる。

【業務内容】競売不動産取扱主任者とは、競売不動産の取扱いに関する知識を身に付け、競売不動産の取扱いに必要とされる知識、経験、技術、資格を有する者の活躍の場は、幅広い。現在、宅建業種で競売不動産取扱主任者は、競売不動産の取扱いに関する知識を習得することで活躍の場が広がり、実際にプレイヤーとなれる。例えば、不動産業者「競売不動産」も取扱に基づく（宅建業種、民事執行法等）全ての不動産の取扱いが可能に。業務の窓口が広がり、不動産のプロとして確立できる。異業種からはビジネスパートナーとして認知され、活躍の場が広がる。金融機関、債権回収部門、融資部門で直接役立つ法律を網羅している。実務に直結して活躍できる。ADR調停人、競売不動産取扱主任者が、競売分野で日本不動産仲介機構のADR調停人基礎資格と競売資格を併せ持つと、競売トラブルにADR調停人となった競売不動産取扱主任者は、当き、活躍の場は広がる。ADR調停人、競売不動産取扱主任者は、当き、活躍の場は広がる。

【業務内容】相続診断士とは、相続の基本的な知識を身に付け、お客様の「相続診断」ができる資格。相続診断士は、相続に関する多岐にわたる問題を理解し、一般の方々の暮らしに寄り添ったアドバイスを行う。多くの消費者は、遺産相続は「か経験者」にのみ非常に難しいと感じ、「誰に相談し良いか」を悩ましているという独特の問題を抱えている。相続診断士はそのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。

### 一般社団法人日本不動産仲裁機構

## 不動産トラブルの解決に直接携われる

お客さまは、極めて高額な商品の取引をするために、トラブルに絶対に対処したいと考えている。したがって、お客様から選ばれるためには、「トラブルを起さない信頼できる事業者」として認知してもらうことが大切だ。そして、「トラブルを起さない存在」として認知してもらうことは、「トラブル解決の専門家」となることが効果的。トラブル解決の専門家は、高いコンプライアンスを持つていると理解されるからだ。更にお客様の中には様々なトラブルを抱えている方もおり、彼らのトラブル相談に対応することは、信頼獲得の近道になる。つまり「調停人候補者」資格を有することは、業務案件獲得の大きな力となる。当然、例外的と認められては、更に調停人に対しては、決まり、信頼獲得につながる。決まり、信頼獲得につながる。決まり、信頼獲得につながる。

### 特定非営利活動法人日本レジデンシャル・セールスプランナーズ協会

## 居住用不動産仲介のスペシャリスト

【業務内容】居住用の不動産を購入する消費者にとって、購入すべきタイミングや購入に向けてのスケジュールは必ずしも決まらず、無理解な返済の資金計画は理不尽なまま。一方、どのようにしたらいいのかわからないのか、客先にとっては、営業担当者との最初の段階で「分かるともならない」「知りたいことを教えてほしい」という経験がある。一方、自身のお住まいを売却される方に、売却のタイミング、売却の時期、販売期間、売却の相場、売却の条件、売却の書類、売却の交渉、売却の決済など、多くの疑問や不安がある。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。

### 一般社団法人不動産競売流通協会

## ニッチな市場で大きなビジネスチャンス

【業務内容】競売不動産取扱主任者は、競売不動産の取扱いに関する知識を身に付け、競売不動産の取扱いに必要とされる知識、経験、技術、資格を有する者の活躍の場は、幅広い。現在、宅建業種で競売不動産取扱主任者は、競売不動産の取扱いに関する知識を習得することで活躍の場が広がり、実際にプレイヤーとなれる。例えば、不動産業者「競売不動産」も取扱に基づく（宅建業種、民事執行法等）全ての不動産の取扱いが可能に。業務の窓口が広がり、不動産のプロとして確立できる。異業種からはビジネスパートナーとして認知され、活躍の場が広がる。金融機関、債権回収部門、融資部門で直接役立つ法律を網羅している。実務に直結して活躍できる。ADR調停人、競売不動産取扱主任者が、競売分野で日本不動産仲介機構のADR調停人基礎資格と競売資格を併せ持つと、競売トラブルにADR調停人となった競売不動産取扱主任者は、当き、活躍の場は広がる。ADR調停人、競売不動産取扱主任者は、当き、活躍の場は広がる。

### 一般社団法人相続診断協会

## “笑顔”で“相続”を迎えるための資格

【業務内容】相続診断士とは、相続の基本的な知識を身に付け、お客様の「相続診断」ができる資格。相続診断士は、相続に関する多岐にわたる問題を理解し、一般の方々の暮らしに寄り添ったアドバイスを行う。多くの消費者は、遺産相続は「か経験者」にのみ非常に難しいと感じ、「誰に相談し良いか」を悩ましているという独特の問題を抱えている。相続診断士はそのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。

## 不動産仲介士 R

【業務内容】不動産仲介士とは、居住用の不動産を購入する消費者にとって、購入すべきタイミングや購入に向けてのスケジュールは必ずしも決まらず、無理解な返済の資金計画は理不尽なまま。一方、どのようにしたらいいのかわからないのか、客先にとっては、営業担当者との最初の段階で「分かるともならない」「知りたいことを教えてほしい」という経験がある。一方、自身のお住まいを売却される方に、売却のタイミング、売却の時期、販売期間、売却の相場、売却の条件、売却の書類、売却の交渉、売却の決済など、多くの疑問や不安がある。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。不動産仲介士は、居住用として、お客様に高い満足度を提供できるように努める。

## 相続診断士

【業務内容】相続診断士とは、相続の基本的な知識を身に付け、お客様の「相続診断」ができる資格。相続診断士は、相続に関する多岐にわたる問題を理解し、一般の方々の暮らしに寄り添ったアドバイスを行う。多くの消費者は、遺産相続は「か経験者」にのみ非常に難しいと感じ、「誰に相談し良いか」を悩ましているという独特の問題を抱えている。相続診断士はそのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。相続診断士は、そのような問題を解決する。